

檜の木だより

2025/1/1

第117号

ひとりひとりひかる

きぼう

発行：檜の木福祉会（法人本部）
かしの木の会

一宮市富田字砂原 2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

檜の木福祉会 ホームページ

[http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



【 目 次 】

- 1P 表紙、目次
- 2P 新年のご挨拶（檜の木福祉会福祉会理事長）
- 3P 新年のご挨拶（かしの木の会会長）
- 4. 5P 第21回かしの木フェスティバル
- 6P 日帰り旅行 かしの木の里
かしの木サポートプラザ
- 7P 日帰り旅行 らでうす／らちえっと
- 8P 日帰り旅行 檜の木作業所
木曽川高校プラスバンド部演奏会



～かしの木フェスティバル～

第21回かしの木フェスティバルを
令和6年11月9日(土)に開催いたしました！



新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。—昨年5月「新型コロナウイルス感染症」の収束宣言がなされてから、早や2年近くになります。この間、ちらほら感染情報が流れましたが、本法人においては、おかげを持ちまして事業運営に支障をきたすことなく新年を迎えることができました。このことは、コロナ感染症が猛威を振るっていた時の、利用者やその家族の方々の御協力と、職員の必死に取り組んだ体験と学びがあったからだと思います。改めて各位に御礼申し上げます。

昨年は、法人の主な行事の改善改革を図った2年目の年でした。春の「運動会」は、事業所ごとに開催し利用者の皆さんが主役となってたっぷり楽しみました。夏の「榎の木盆踊り大会」も一昨年同様、「らでうす」駐車場を中心に盛大に開催できました。

特に、11月に開催しました「第21回かしの木フェスティバル」は、冷たい伊吹おろしを感じさせない好天に恵まれ、これまでにない賑わいが終了間際まで続きました。中野一宮市長様はじめ多数のご来賓の方々、後援をいただいた業者や地域の方々へ厚く御礼申し上げます。

この「かしの木フェスティバル」は、一宮市の「ミズベリング138」事業に協力したイベントとして開催しました。ミズベリング事業はまだ広く知られていないようですが、全国的に展開されている、水辺の新しい活用方法を切り拓いていく官民一体の協働プロジェクトです。

かしの木の里からの木曾川河畔の景観はとても素晴らしいと感じています。緑豊かな河畔、豊かに流れる木曾の清流、川面に映える濃尾大橋、名神高速道路と新幹線の架橋、これらを引き立たせる伊吹山と養老山脈。こんなに素晴らしい自然があるにも関わらず、人はここからどんどん遠ざかる状況が進んでいると思います。市民が緑豊かな自然を愛し、自然の中で人と人が集い、こころ豊かな生活を実現したいものです。ここ「富田山公園」が近い将来、市民・県民が集う憩いの場として、歩いて楽しめる観



榎の木福祉会理事長 北川 登

光地として発展するよう榎の木福祉会としても大きな期待を寄せています。

—昨年7月に「榎の木作業所」の施設改修・増築工事が完了しました。その後、榎の木作業所保護者会から、榎の木作業所のために活用していただくようにと多額のご寄付の申し出をいただきました。それ以降、保護者会のご意向をもとに検討を重ね、以下の環境整備に活用させていただきました。

- ① 作業所西側の土地購入（約500㎡）
- ② 上記土地の職員駐車場整備
- ③ 作業所棟内建具改修
- ④ 食堂床改修、カーテン更新
- ⑤ 食堂の食卓・椅子の新規購入

おかげを持ちまして、榎の木作業所施設の安全確保と快適な環境整備を進めることができました。保護者会の各位に改めて厚く御礼申し上げます。

昨年もお伝えいたしましたが、職員確保が年々ますます厳しくなっています。ハローワークへの求人応募、新聞折り込み求人広告、求人ナビへの応募等あらゆる策を講じながら努力を重ねています。最後の頼りは、地域の方々のご支援に頼るしかないと思っています。

新しい年を迎え、障害者福祉事業の充実発展に資するべく法人挙げて努力してまいります。

本年も、引き続きご支援賜りますようお願いし年頭のご挨拶といたします。

かしの木の会コーナー

新年のご挨拶とかしの木の会のこれから

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては良き初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中はかしの木の会の活動に多くのご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も役員一同力を合わせて本会の運営に取り組んでまいります。皆様のお力添えをよろしく願いいたします。

昨年は元日から能登半島地震と津波、9月にはその復興も終わらぬうちに能登半島を大雨が襲い、8月には日向灘地震が起き南海トラフ地震注意情報が発令されるなど、度重なる天災や異常気象に不安になった1年でした。南海トラフ地震注意情報が出された時には皆が一斉に備蓄品の買いだめに走り、商店の棚から水や米が消えてしまう事態も起こりました。

ひとたび災害が起きると私たちは、職員さん、利用者さん、保護者関係なく全員が被災者になりうる可能性があります。そんな中で福社会や職員さん頼りではなく私たち個人個人が災害に備えて何ができるのかを日ごろから考え、いつ起こるか分からないその日のために心構えをしておくことが大事だと思いました。

一昨年の本会の全体会で、福社会の災害時の対応をお聞きしましたが、今一度防災についてのお考えや実際に取られている対策を伺って、本会として協力できる部分は協力をさせていただきたいと思えます。障がいがある人もない人も、職員さんも利用者さんも安心できる防災対策を、皆さんと考える機会が設けられたらよいと思っています。

災害への不安とは反対に、昨年はコロナ禍も落ち着き、以前のような生活が完全に戻ってきました。マスクや会合会食の制限もなくなり、日常を心も軽やかに過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。



かしの木の会会長 清水二美

そんな中、本会の活動も以前の状態に戻り、5年ぶりに対面での総会を開催することができました。皆様のご協力に感謝いたしております。

これからの本会の活動としましては総会でもお話ししたように、かしの木の会の組織全体および活動内容の見直しを進めてまいりたいと思います。

本会はここ何年もの間、役員顔ぶれがほぼ変わっていないだけでなく、役員の数も時の流れには逆らえずに減り続けています。そのために思うような活動ができない委員会も出てきています。今の状態でも運営委員会の活動を続けていけるような組織に改革をすること、また活動内容もコンパクトに変えていくことが急務であります。今までのように、かしの木音楽会や施設見学などの大きな行事を開催することはできなくなりますが、会員の皆様に興味をもっていただける行事を提案していけるように役員一同で知恵を出し合いたいと思います。また、福社会からのお知らせや、福祉に関するニュースなども皆様に発信していけるような仕組み作りにも取り組んでいきたいです。会員の皆様にとって魅力のあるかしの木の会とはどのようなものなのか、皆様のご意見を伺う機会を設けることができればと思います。

また、本会の活動は福社会とも密接な関係にありますので、福社会とも連携を取りつつ改革を進めていきます。

かしの木の会のこれからの改革に、皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

法人コーナー①

第21回かしの木フェスティバル！！

11月9日（土）に第21回かしの木フェスティバルが開催されました。昨年からテーマを決めて実施しています。

今年のテーマは

～OMOROIYAN KASIFES～

（おもろいやん かしフェス）

企画する実行委員も参加される皆様も、みんなが「おもろい」と思えるイベントになるようお願いを込めて、準備を進めてまいりました。



まずは今年のイベント内容をご紹介します！

メイン会場 ※富田山グラウンド

- ・ステージイベント（吹奏楽、大道芸、歌、太鼓、ダンス、よさこい）
- ・展示・販売等（色々なバザー、フリマ、車両展示、ふわふわドーム、ゲーム、朝市など）
- ・飲食（キッチンカー4台、事業所模擬店等多数）

スポーツ会場 ※河川敷グラウンド他

- ・教室（サッカー教室、野球教室、スケートボード教室&体験）
- ・体験（スラックライン、50m走測定、ストラックアウト、リフティング）

アウトドア会場 ※ウッドデザインパーク

- ・焚火体験&焼きマシュマロ作り
- ・モルック、缶ジャム体験、カフェ営業

その他

- ・リコーさんのオリジナルカバン作り
- ・ワークショップ

今年は青空が広がり風もなく、抜群のイベント日和となりました。朝から多くの方に足を運んでいただき、開会式前から賑わいを見せていました。

メイン会場ではステージから色々なパフォーマンスの楽しい音や、店員さんやボランティアさんの活気ある声が会場に響き、各ブースに行列が見られるという光景が広がっていました。



スポーツ会場では、元プロ選手によるサッカー教室と野球教室、今年初実施のスケートボード体験&教室がありました。元プロ選手の言葉に真剣に耳を傾けていました。その他、自由参加のスポーツ体験もあり、子供たちを中心に賑わっていました。



アウトドア会場では焚火を楽しんだり、おやつ作りをしたり、モルック・缶ジャム（アウトドアの遊び）で楽しんでいました。500個用意したマシュマロがまさかの完売！

その他、リコーさんによるオリジナルカバン作りは予想以上の人気のため開始早々に完売！ワークショップも人気でたくさんの方がものづくりをしていました。

忘れてはいけないのが、いちみん&いちぴょん！子供たちに大人気！人気すぎてびびりました(笑)

模擬店やキッチンカーの売れ行きから圧倒的に昨年以上の来場者数とわかるほどでした。

中高生を中心に100名を超えるボランティアさんに参加していただき、たくさんのパワーをもらいました。



楽しいイベントもあっという間にフィナーレの時間。今年も最後の締めくくりは「会場にいる皆さんと一緒に！」という想いで、カウントダウンと共に、クラッカーを全員で~~~~「ぱーーーーん！！」と鳴らし、フェスを締めくくりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！！

昨年の反省を活かし、案内を増やすなど細かな点の工夫をしたことで楽しい雰囲気のある会場作りを行ってきました。

皆様「おもしろい」と思っていただけでしょうか？



このようなイベントを行い毎回思う事は、たくさんの協力のおかげで開催できるということです。各関係機関や来賓、協賛者、出店者、出演者、来場者、地域の方々、本当にありがとうございました。準備を進めていくうえで人と人の繋がりも増えていき、新たなたくさんの出会いもあり、ありがたい限りです。



リニューアルしたフェスが今回で2回目。昨年は実行委員の中にも開催されるまで新しいフェスのイメージができなかった人も多かったはず。昨年経験したことを活かして、しっかりとした準備をすることができました。

～おもしろい やん かしフェス～ を掲げ、みんながおもしろいフェスになるよう、そして昨年よりもっと良いフェスにしたいという意気込みやおもてなしの気持ちで、実行委員を中心に創り上げました。もちろん大変さもあったと思いますが、充実して楽しいフェスになりました。



最後になりましたが、今回無事にそして盛大に、かしの木フェスティバル ～OMORO I YAN KAS I F E S～ を開催することができましたことを、心より感謝いたします。

来年もどうぞお楽しみに！それまで皆様に幸あれ！！

第21回かしの木フェスティバル
実行委員長 加藤 栄治

法人コーナー②

かしの木の里 日帰り旅行

今年度は9月～11月にかけて3つの旅行を計画しました。聞き取り内容を元に行き先決めて、メンバー表が発表されると、毎日が旅行の話題でもちきりでした。

『長浜でぶどう狩り』のグループは普段はなかなか食べることが出来ない大きなぶどうに大歓喜。甘いぶどうに舌鼓を打ちながら、次はどれを食べようかな、と早々と次のぶどうに狙いを定める人続出でした。



『USJで遊び尽くす』グループは移動から楽しそうな様子。なんと！新幹線での移動です。普段なかなか乗ることが無い新幹線に皆さん大興奮！USJは平日にもかかわらず予想外の混みようで、人混みをかき分けながら、「あれを見よう」「これを買おう」「お昼ご飯はココにしよう」等、会話がつきませんでした。楽しい時間はあっという間というのはまさにこの事。お土産も沢山買ってホクホクの皆さんでした。



『東大寺で大仏参拝』のグループは2台の車に分乗し奈良県へ出発です。途中、お昼ごはん休憩を挟んで心の準備を整えたら、いざ大仏様に会いに東大寺へ向かいます。途中の奈良公園では鹿に囲まれるという洗礼を浴びたり、皆さん大仏様を前に圧倒された様子。とてもよい旅になりました。



かしの木の里 レク担当一同

かしの木サポートプラザ 日帰り旅行

10月11日(金)、25日(金)で2グループに分かれ、蒲郡市のラグナシアに行ってきました。両日ともに天候に恵まれた良い1日になりました。

旅行先をラグナシアに決め、利用者さんとラグナシアの話をしていると、「水着を持っていきます！」との返事が！この夏に流れていたCMを思い出されたのだと思います(^) 他の皆さんもそれぞれ遊園地を楽しみにされていました。



レストランでランチを食べ、いざ遊園地へ出発です。お腹もいっぱいになり、みなさんそれぞれお目当てのアトラクションに向かいました。

いざ乗り物を目の前にすると、「乗らなくてもいいわー。」と尻込みをする利用者さんがいたり、絶対に乗らないと思っていた利用者さんが積極的にアトラクションを楽しんだり、普段に見る事が出来ない皆さんの表情を見る事ができ、職員も楽しく過ごす事ができました。

水着を持って行くと話されていた利用者さんは、急流すべりで水を浴びていました(^)



係員の方の対応もあり、利用者の皆さんが安全に楽しむ事ができた事もとても良かったです。

来年も利用者の皆さんと職員が、一緒に楽しむ事ができる日帰り旅行を計画したいと思います。

かしの木サポートプラザ 加藤美穂

らでうす 日帰り旅行

らでうすでは10月11日(金)、25日(金)の2日間にわけて野外民族博物館リトルワールドに行きました。天気予報に一喜一憂しながらも両日とも天候に恵まれ、絶好の行楽日和の中、日帰り旅行を実施できました。

リトルワールドに到着し、入り口正面のフォトスポットで集合写真を撮った後は少し早めの昼食。メニューはボリューム満点のカツカレー。腹ごしらえをして「世界一周旅行」の旅へ準備完了。ワクワク・ドキドキいざ出発!!

まずはバスに乗り、車窓から各国の特徴的な家や寺院などの建造物に目を輝かせ、園内一周。

次に園内を歩いて散策。日本からスタートドイツ・フランス・イタリアのエリアへ。

ここでメインイベントである「民族衣装体験」を行いました。各利用者様それぞれ気に入った貴族や童話の世界の王子様・お姫様のような衣装を選んで着替えました。格好良い・可愛らしい衣装を身に纏った利用者の方はまるでその役になりきったかのように普段とは違った姿を見せてくれました。精悍な顔つきでポーズを決めたり、プリンセスのような立ち振る舞いをしたりと存分に楽しまれている様子でした。

あっという間に時間が過ぎ、職員・利用者の方ともに日帰り旅行を満喫できたことは最高の思い出になりました。



らでうす 梶浦 正善

らちえっと 日帰り旅行

今年度のらちえっとの日帰り旅行の行き先は、目的ごとに3つに分かれました。

プラネタリウムを見に行きたい人たちの「大垣市スイトピアセンター」、動物と触れ合いたい人たちの「牧歌の里」、それぞれの食べ方に合わせた昼食を食べたい人たちの「岐阜市科学館・カムカムスワロー・柳津道の駅」の3つです。

「大垣市スイトピアセンター」に行った人はプラネタリウムの中へ入り、一所懸命に目を動かしながら星空を見上げて楽しみました。星座や神話の説明なども聞いて、とても良い経験をしました!



「牧歌の里」に行った人たちは、羊・馬・アルパカなど動物と触れ合い、楽しい時間を過ごしました。パンの手作り体験にもチャレンジして、思いの形のパンを 作ってお土産にしました!

「岐阜市科学館・カムカムスワロー・柳津道の駅」に行った人たちは、カムカムスワローにて昼食を食べました。一人一人に合わせた食事形態で提供してもらえ、皆さん美味しそうに食べられていました。食後には事前に注文していたドリンクやデザートも楽しまれ、ご満悦でした!



どのグループの人たちも、それぞれに合った楽しみ方をされたようで良い笑顔を見せて下さいました。

らちえっと 森浦 勲

樫の木作業所 日帰り旅行

今年の日帰り旅行は5つのグループに分け、行き先は名古屋港水族館とレゴランドの2カ所に分かれました。

名古屋港水族館のグループは10年ぶりぐらいに行く利用者の方も多く、久しぶりに行ってみると以前とは少し違った魚が見られたり、ブルーガやシャチなど、その大きさやかわいらしさに喜びや驚きを身体で表現される皆さんの姿が印象的でした。そして何と言ってもイルカショーは迫力があります。何頭ものイルカが一斉にジャンプしたり、6mの高さのボールを回転しながらキックする瞬間に皆さん拍手をしながら感動していました。



旅行の楽しさは美味しいものを食べたり、お土産を買ったりすることでもあります。

お土産はかわいらしいグッズや美味しそうなクッキーなど目移りするものが多く、どれにしようかなかなか決められなかったり、あれもこれも欲しくなってしまう…それも良い思い出です。

昼食はポートビルのレストランでカツカレーを食べました。普段は急いで食べてしまいがちですが、こんな日はゆったりと海の眺めを楽しみながら食べることができました。

そして、ちょっとした自分へのご褒美にティータイム&おやつ。

「また明日からお仕事頑張ろうね！身体もしっかり動かして健康第一!!」と皆で誓い合いながら、あっという間に過ぎた1日でした。



樫の木作業所 廣瀬 奏汰

木曾川高校プラスバンド部演奏会

令和6年9月8日(日)に、恒例の木曾川高校プラスバンド部の演奏会に参加しました。

例年と異なり土曜日ではなく、日曜日という事もあり、どれほどの利用者さんが参加できるのか不安な面はありました。しかし蓋を開けてみたら、今年も多くの利用者さんが参加され、毎年の楽しみとして期待度の高さを感じました。

当日は熱中症への不安も懸念されましたが、利用者さんたちは次々と演奏される曲目に興味津々で耳を傾けられていました。聞き馴染みのあるアニメのテーマ曲など演奏されると一緒に口ずさんでいる方、リズムに合わせて身体を動かされる方、中には前方ステージの側へ行って楽しまれている方もいて、皆さん満面の笑みでした。



素敵な演奏に加えて、プラスバンド部の方や先生方もしっかりと場を盛り上げていただき、感謝の気持ちで一杯です。

改めて感謝申し上げます。今後とも、このような企画に参加できる事を楽しみにしております。

ステップ 職員

謹んで新年のお慶び申し上げます。

旧年は、私どもの活動にご理解・ご支援を賜り誠にありがとうございました。

本年も皆様のご期待に応えるべく
広報委員一同精進してまいります。

引き続きご支援を
よろしく願い申し上げます。